



旅行好きのソムリエが、世界のあっちこちから
死ぬ前に一度は見ておくべき町を厳選してご提案します。
私がああなたの次の旅をもっとわくわくさせますよ!

Toronto

オンタリオ州の州都トロントはカナダ最大の都市であり、都市圏人口は約600万人弱とトロント周辺だけでもカナダの人口の6分の1ほどを占めており、北米ではニューヨーク、ロサンゼルス、シカゴに次ぐ大都市です。

5人に1人が海外生まれで移民として渡ってきたと言われるカナダでも特にトロントは移民を多く受け入れている都市ですので、一つの国の文化が圧倒的な割合を占めることなく多文化的、かつ人口構成も国際色豊か。90以上の民族が居住し約80の異なる言語が話されるマルチカルチャーな都市で、日常的に様々な人種と交流する事ができます。

最も大きな民族グループはヨーロッパ系で全人口の約半数を占めていますが、残りの約半数は白人以外であり、インド系、スリランカ系、パキスタン系などの南アジア系を筆頭に、中国系、ジャマイカなどの西インド諸島出身者、ベトナム系やフィリピン系などの東南アジア系も多く、その他、トロントの人口は世界各地の

- ①～④ 11月、秋のカナダ
- ⑤・⑥ カナダの経済商都、高層ビルが立ち並ぶトロント
- ⑦ 公園で大きなリスが走りまわっているのは日常風景
- ⑧ コリアンタウンの本格的な韓国料理
- ⑨ リトル・インディア
- ⑩ トロントのグリーグタウンはかなり広く、ギリシャの雰囲気を感じられます



移民で構成されています。現在でも毎年アジアを中心に世界中から多くの移民を受け入れているため、数年後ヨーロッパ系は少数派になるとさえ推測されています。日本人在住者は約1万人で、日系人全体を合わせると約3万人がこの街で暮らしています。語学留学生のほか日系企業も多く進出しているため、意外と日本人が馴染みやすい土地なのです。実際に私の周りにも語学留学先にトロントを選ぶ人は多く、街は清潔で治安も良く人々の生活水準も高いため、ワーキングホリデーや留学先としても人気の都市となっています。

各国からの移民が作り出したエスニックタウンが数多く存在し、リトル・イタリーやリトル・ジャマイカ、リトル・インディア、チャイナタウン、コリアンタウン、ギリクタウン、ポルトガル・ビレッジ、ポーリッシュタウン（東欧系）、ジュイッシュ・ネイバーフッズ（ユダヤ系）、ケンジントンマーケット（元々はユダヤ系移民の街だったが、近年は西インド系の店が集まるエリア）など、街を歩けば移民たちが築いた様々な文化

に出会うことができます。その反面カナダ独特の文化や伝統料理といった点では強くないのですが、チャイナタウンで中華料理のランチをとったあと、ヒッピーテイストの漂うケンジントンマーケットで古着を散策し、ギリクタウンでムサカ（ギリシャの伝統料理）と白ワインのディナー、そんな異文化が融合した一日を過ごせるのもトロントだからこそ。それぞれが異なっているからこそ相手を尊重できる、そんな当たり前のことを当たり前に感じさせてくれる穏やかな街です。



11～13 サガナキ、ムサカなどギリシャ料理は日本人の舌に合う料理が多くおすすめ

14～18 アート色の強いケンジントンマーケットは歩いているだけで楽しい!

19 移民の国なのでカナダ独自の料理といえるものがなかなか挙げにくいのですが…フライドポテトにチーズとグレービーソースをたっぷりかけたプーティンはカナダで大人気です。ただこの一箱で軽く1,000Kcalを超えてしまうので、ほどほどに!

20 マーケットで販売されているプーティン用のチーズ